

## II 実践報告

### 1 年間6スパンの指導計画の工夫

#### (1) 平成19年度

平成19年度から年間を6スパンに分けた指導計画の検討に入った。少人数・習熟度別授業・一斉授業という3つの授業形態それぞれにおいて、基礎コース（評価Bを目標とする）と標準・発展コース（評価Aを目標とする）の2つに分けて作成することとした。また、支援を必要とする生徒への手だてのそれぞれの指導計画を右のような書式で作成してもらったこととなった。19年度は6スパンの中から1つのスパンを抽出し、作成することとなり、試案を提示し各教科で作成してもらったことにした。各スパンの区切りの評価場面を基本的には定期考査とし、作成を依頼した。作成に当たり、いくつか問題点も出てきた。中間考査を行う教科については作成しやすいが、実技教科にはスパンの区切りについての改善が必要であったこと。保護者には、シラバスを配布・説明を行っているが、その中に含まれている年間計画と内容が重複する場面があり、同じような内容を別の書式で作成していかなければならないという問題があった。



#### (2) 平成20・21年度

平成20年度より、内容が重複した部分のある学習のシラバスと年間指導計画の書式の違いを改善するために、年間計画を基礎コースと標準・発展コースそれぞれA3見開きの状態で作成し、基礎コースの方は各教科ごとに学習の取り組み方・評価の仕方等をいれ、学習のレディネスとして保護者に見せることとした。また、発展コースの年間計画の中に、援助を必要とする生徒への手立てを載せていくようにした。また、「読解力・思考力・表現力・判断力」を授業のどの場面で行っていくかについても平成20年度に研修を行ったので、それについては保護者向けの学習の手引きの部分と差し替えて平成21年度の教育計画を作成した。教科によっては1学年を複数の教員が担当する場合は、各教科の担当教員ごとに6スパンごとに分けて計画を立てた。複数の教員が行ったり週ごとの授業時数が少なかったりする教科などは、1つのスパンの中に評価を行わない場合がある。その場合、その観点の評価を行わずに家庭通知を行うこととした。

第3学年 英語科 年間計画 (基礎コース)

年 間 計 画	観 点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度		表現の能力		理解の能力		言語や文化についての知識・理解		読解力・思考力・判断力・表現力育成の場面 (学習内容・方法)
		25%	25%	25%	25%	25%	25%			
1	LESSON 1 受動態(規則動詞・不規則動詞) 疑問文・否定文 DO IT TALK 1 DO IT LISTEN 1	4	・受け身形を使った文を積極的に使おうとする。 ・間違いをおそれず、英語を使おうとする態度がみられる。 ・既習の表現を使って積極的に道案内をしようとする。	・内容を伝える事を意識して、教科書の音読ができる。 ・場面に応じて、道案内の表現を使って話そうとする。	・受身形を使った自然な速さの英文を読み取ることができる。 ・物語の場面ごとに重要な語句を聞き取ることができる。 ・道案内の文を聞いて理解することができる。	・受け身形に関して正しい文型やふさわしい語法を使って英文を作る知識がある。 ・道案内の表現について正しい文型やふさわしい語法についての知識がある。	・受け身形に関して正しい文型やふさわしい語法について正しい知識がある。 ・現在完了形(継続)について、正しい文型やふさわしい語法についての知識がある。	・語彙力を高めるために Bingo を活用 ・フラッシュカードを使った単語の音読 ・個人、ペアで教科書を使って音読 ・ペアワークにて道案内や相手に飲み物や食べ物をお勧めする表現の練習		
2	LESSON 2 現在完了形(継続) 疑問文・否定文 DO IT LISTEN 2 DO IT TALK 2	5	・題材の内容に興味を持って、情報を得ようとする態度がみられる。 ・現在完了形(継続)を使った文を積極的に使おうとしている。	・場面に応じて、現在完了形(継続)を含む文を使って話したり、書いたりできる。	・インタビューの内容を理解することができる。 ・現在完了形(完了・経験)を含む英文を聞き取ったり、また読みとったりできる。	・インタビューの場面にふさわしい表現を知っている。 ・相手に食べ物や飲み物をお勧めする場面にふさわしい表現を知っている。 ・現在完了形(完了・経験)について、正しい文型やふさわしい語法についての知識がある。	・現在完了形(継続)について、正しい文型やふさわしい語法についての知識がある。	・リスニング・語彙力を高めるために Bingo を活用 ・フラッシュカードを使った単語の音読 ・個人、ペアで教科書を使って音読 ・ペアワークにてお互いの経験を尋ねたり、電車の路線図を見ながらの道案内 ・自分の経験について現在完了形を使っている Presentation ・英語による Q&A ・ディクテーション(ゆっくりと3回ずつ)		
3	LESSON 3 現在完了形(経験・完了) 疑問文・否定文 DO IT LISTEN 3 DO IT TALK 3 WORD CORNER 1 (感情や体調を表す表現)	6	・友人に積極的にインタビューをしようとする態度がみられる。 ・相手の意向を積極的に尋ねる態度がみられる。 ・題材の内容に興味を持って、情報を得ようとする態度がみられる。 ・現在完了形(完了・経験)を使った文を積極的に使おうとしている。 ・既習の表現を使って積極的に道案内をしようとする。	・インタビューの質問に対して答えることができる。 ・相手に飲み物や食べ物を勧めることができる。 ・場面に応じて、現在完了形(完了・経験)を含む文を使って話したり、書いたりできる。 ・乗り物を使った道案内ができる。	・インタビューの内容を理解することができる。 ・現在完了形(完了・経験)を含む英文を聞き取ったり、また読みとったりできる。 ・乗り物を使った道案内の文を聞いて理解することができる。 ・相手の体調や感情について聞いて理解できる。	・インタビューの場面にふさわしい表現を知っている。 ・相手に食べ物や飲み物をお勧めする場面にふさわしい表現を知っている。 ・現在完了形(完了・経験)について、正しい文型やふさわしい語法についての知識がある。	・体調や感情を表す語句の知識がある。	・リスニング ・フラッシュカードを使った単語の音読 ・個人、ペアで教科書を使って音読 ・ディクテーション(ゆっくりと3回ずつ) ・リスニング		
4	LESSON 4 形式上の主語(it) 第5文型 WORD CORNER 2 (いろいろな数の表し方) DO IT LISTEN 4 LETS READ 1 WORD CORNER 3 (単語の仲間)	7	・題材の内容に興味を持って、情報を得ようとする態度がみられる。 ・場面に応じていろいろな数の表し方を使おうとする。 ・話される内容を必要に応じてメモを取りながら聞いている。 ・自分の意見や感想を間違いを恐れずに積極的に表現しようとする態度がみられる。	・場面に応じて It-for-to ,SVOC の構文を含む文を使って話したり、書いたりできる。 ・場面に応じて、現在分詞と過去分詞の後置修飾を含む文を使って話したり、書いたりできる。 ・人物や物の説明を現在分詞と過去分詞を使って表現できる。	・It-for-to ,SVOC の構文を含む英文を聞き取ったり、また読みとったりできる。 ・教科書の英文を精読し、大意をつかむことができる。 ・現在分詞と過去分詞の後置修飾を含む英文を聞き取ったり、また読みとったりできる。	・It-for-to ,SVOC の構文についての知識がある。 ・外国の伝統、歴史、文化について理解を深め、自分の意見を述べることができる。	・語彙力を高めるために Bingo を活用 ・フラッシュカードを使った単語の音読 ・個人、ペアで教科書を使って音読 ・ペアワークにて It-for-to- を使って自分自身にとって難しいことと簡単なことを伝え合う ・広島原爆に関する写真を見て Presentation ・英語による Q&A ・ディクテーション(ゆっくりと3回ずつ)・リスニング			
5	LESSON 5 分詞 後置修飾 DO IT WRITE 1 LESSON 6 関係代名詞(that・which・who) DO IT LISTEN 5	8	・外国の伝統、文化に興味を持って情報を得ようとする態度がみられる。 ・既習の表現を使って自分行ってみたい国について積極的に紹介しようとする。 ・日本の文化について積極的に紹介しようとする。 ・題材の内容に興味を持って、情報を得ようとする態度がみられる。 ・関係代名詞を使った文を積極的に使おうとしている。	・日本の文化について説明する文を書いたり話したりできる。 ・人物や物の説明を関係代名詞を使って表現できる。	・現在分詞と過去分詞の後置修飾を含む英文を聞き取ったり、また読みとったりできる。 ・日本の文化についての説明文の内容を正しく聞き取ったり、読み取ったりできる。 ・関係代名詞を含む英文を聞いてその内容を正しく理解したり、また読みとったりできる。	・現在分詞と過去分詞の後置修飾について、正しい文型やふさわしい語法についての知識がある。 ・Show and Tell の技法についての知識がある。 ・日本の文化について理解を深め相手に紹介することができる。 ・関係代名詞(主格・目的格)について、正しい文型やふさわしい語法についての知識がある。	・語彙力を高めるために Bingo を活用 ・フラッシュカードを使った単語の音読 ・個人、ペアで教科書を使って音読 ・ペアワークにて関係代名詞を使って友人を紹介 ・キング牧師のスピーチを聞いた感想、日本の文化を1つ取り上げ、それについての Presentation ・英語による Q&A ・ディクテーション(ゆっくりと3回ずつ)・リスニング			
6	DO IT TALK 4 LESSON 7 不定詞 間接疑問文 DO IT TALK 5 LESSON 8 間接疑問文	9	・相手を誘ったり、提案したりする会話表現を積極的に使おうとする態度がみられる。 ・題材の内容に興味を持って、情報を得ようとする態度がみられる。 ・電話での会話表現を積極的に使おうとしている。 ・不自然な沈黙をせずに応答し、話しつづけることができる。 ・丁寧な依頼表現を会話で積極的に使おうとしている。	・場面に応じて相手を誘ったり、提案したりする会話表現ができる。 ・場面に応じて S+V+O+to ~ S+V+wh 節の構文を含む文を使って話したり、書いたりできる。 ・電話特有の会話表現を使って話ることができる。 ・相手に丁寧な依頼表現を使って話かけることができる。	・場面に応じた提案や誘いの会話表現が聞いている。 ・S+V+O+to ~ S+V+wh 節の構文を含む英文の内容を正しく聞き取ったり、読み取ったりできる。 ・電話での会話表現の内容を正しく聞き取ることができる。 ・電話での依頼内容を聞き取ることができる。	・場面に応じた提案や誘いの会話表現についての知識がある。 ・S+V+O+to ~ S+V+wh 節の構文について、正しい文型やふさわしい語法の知識がある。 ・電話での会話表現について正しい知識がある。 ・丁寧な依頼文についての知識がある。	・語彙力を高めるために Bingo を活用 ・フラッシュカードを使った単語の音読 ・個人、ペアで教科書を使って音読 ・ペアワークにて how to を使って物事の手順や、やり方を説明 ・世界で起きている問題及び、障害について Presentation ・英語による Q&A ・ディクテーション(ゆっくりと3回ずつ) ・リスニング			
7	DO IT WRITE 2 LETS READ 2 READING PLUS	10	・「コミュニケーション」に興味を持って自分の考えをまとめたり、表現しようとする態度がみられる。 ・必要に応じて辞書を活用しようとする。 ・中学校生活についての自分の思い出を積極的に表現しようとする態度がみられる。 ・難民や人権などの国際理解につながる題材について書かれた内容を興味を持って理解しようとする。	・今まで習った文法を用いて、伝えたい内容を正しく書くことができる。 ・アイコンタクトやジェスチャーなども含めた表現方法をj使jって、自分の伝えたい内容を相手に話すことができる。	・中学校生活について相手の話している内容を正しく聞き取ったり、読み取ったりできる。 ・人権についてのエッセイを読み、内容を理解することができる。	・伝えたい内容を表現するための正しい文型や語法の知識がある。	・語彙力を高めるために Bingo を活用 ・フラッシュカードを使った単語の音読 ・個人、ペアで教科書を使って音読 ・人権に対する自分の考えについて Presentation ・中学校生活3年間の感想を英文でまとめる ・英語による Q&A ・ディクテーション(ゆっくりと3回ずつ) ・リスニング			

第3学年 英語科 年間計画（標準・発展コース）

年 間 計 画	学習のねらい	観 月	コミュニケーションへの関心・	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解	学習支援を必要とする生徒への手立て
			意欲・態度	25%	25%	25%	
LESSON 1 受動態（規則動詞・不規則動詞） 疑問文・否定文 DO IT TALK 1 DO IT LISTEN 1 LESSON 2 現在完了形（継続） 疑問文・否定文	・2年の復習 （受け身形を中心に） ・道順をたずねる時の表現 ・物語の理解 ・現在完了形（継続）	4	・コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ・25%	・内容伝える事を意識して、教科書の音読ができる。 ・場面に応じて、道案内の表現を使って話することができる。	・受身形を使った自然な速さの英文聞き取ることができる。 ・物語の場面ごとに重要な語句を聞き取りながら内容を理解すること ・道案内の文を聞いて理解することができる。 ・現在完了形（継続）を含む英文を聞き取り、また読みとったりできる。	・受け身形に関して正しい文型やふさわしい語法を使って英文を作る知識がある。 ・道案内の表現について正しい文型やふさわしい語法についての知識がある。 ・現在完了形（継続）について、正しい文型やふさわしい語法についての知識がある。 ・インタビューの場面にふさわしい表現を知っている。 ・相手に食べ物や飲み物を勧める場面にふさわしい表現を知っている。	・受け身形の練習問題をワークブックを使って行い、文型を確認する。 ・よく使う不規則動詞の変化形を書いて練習する。 ・現在完了形（継続）の練習問題をワークブックを使って行い、文型を確認する。 ・インタビューや会話表現は基本本文を暗唱し、口頭ですらすら言えるまで反復練習する。 ・基本となる構文を使って簡単な会話練習を口頭で行う。
DO IT LISTEN 2 DO IT TALK 2 LESSON 3 現在完了形（経験・完了） 疑問文・否定文 DO IT LISTEN 3 DO IT TALK 3 WORD CORNER 1（感情や体調を表す表現）	・インタビューのしかた ・飲み物、食べ物をすすめるときの表現 ・現在完了形（経験・完了） ・世界遺産 ・乗り物での行き方をたずねるとき ・感情や体調を表す表現	6	・友人に積極的にインタビューをする態度がみられる。 ・題材の内容に興味を持って、情報を得ようとする態度がみられる。 ・現在完了形（完了・経験）を使った文を積極的に使おうとしている。 ・既習の表現を使って積極的に道案内をしようとする。	・インタビューの質問に対して答えることができる。 ・相手に飲み物や食べ物を勧めることができる。 ・場面に応じて、現在完了形（完了・経験）を含む文を使って話したり、書いたりすることができる。 ・乗り物を使った道案内ができる。	・インタビューの内容を理解することができる。 ・現在完了形（完了・経験）を含む英文を聞いてその内容を正しく理解したり、また読みとったりできる。 ・乗り物を使った道案内の文を聞いて理解することができる。	・現在完了形（完了・経験）について、正しい文型やふさわしい語法についての知識がある。 ・乗り物を使った道案内の表現を知っている。 ・体調や感情を表す語句の知識がある。	・現在完了形（完了・経験）の練習問題をワークブックを使って行い、文型を確認する。 ・乗り物を使った道案内の基本本文を暗唱し、口頭ですらすら発音できるようにする。 ・体調や感情を表す語句の知識がある。
LESSON 4 形式上の主語（it） 第5文型 WORD CORNER 2（いろいろな数の表し方） DO IT LISTEN 4 LET'S READ 1（The Whale Rider） WORD CORNER 3（単語の仲間）	・形式上の it を使った表現 It ~ for ~ to ~ ・第5文型 S+V+O+C（名詞） S+V+O+C（形容詞） ・いろいろな数の表し方 ・ディスカッションのしかた ・映画のストーリーの理解 ・同じ仲間の単語、反対語、類義語など単語の整理	9	・題材の内容に興味を持って、情報を得ようとする態度がみられる。 ・場面に応じていろいろな数の表し方を使おうとする。 ・話される内容を必要に応じてメモを取りながら聞いている。 ・自分の意見や感想を間違いを恐れずに積極的に表現しようとする態度が見られる。	・場面に応じて It-for-to、SVOC の構文を含む文を使って話したり、書いたりすることができる。 ・教科書の英文を精読し、大意をつかむことができる。 ・現在分詞と過去分詞の後置修飾を含む英文を聞いてその内容を正しく理解したり、また読みとったりできる。	・It ~ for ~ to ~、SVOC の構文についての知識がある。 ・教科書の英文を精読し、大意をつかむことができる。 ・外国の伝統、歴史、文化について理解を深め、自分の意見を述べることができる。	・It ~ for ~ to ~、SVOC の構文について基本文型の練習をワークブックで行う。 ・教科書の本文の内容を理解しながら音読練習する。 ・基本的な単語の反対語や類義語を書く練習をし、すらすら読めるようにする。	
LESSON 5 分詞（現在・過去分詞）後置修飾 DO IT WRITE 1 LESSON 6 関係代名詞（that・which・who） DO IT LISTEN 5	・現在分詞の後置修飾 ・過去分詞の後置修飾 ・日本の文化を説明する ・関係代名詞 that（主格）that（目的格） who, which（目的格）which ・スピーチを聞き取る	10 11	・外国の伝統、文化に興味を持ち、情報を得ようとする態度が見られる。 ・既習の表現を使って自分行ってみようとする。 ・日本の文化について積極的に紹介しようとする。 ・題材の内容に興味を持って、情報を得ようとする態度がみられる。 ・人物や物の説明を関係代名詞を使って表現できる。	・現在分詞と過去分詞の後置修飾を含む英文を聞いてその内容を正しく理解したり、また読みとったりできる。 ・日本の文化についての説明文の内容を正しく聞き取ったり、読み取ったりできる。 ・関係代名詞を含む英文を聞いてその内容を正しく理解したり、また読みとったりできる。	・現在分詞と過去分詞の後置修飾について、正しい文型やふさわしい語法についての知識がある。 ・Show and Tell の技法についての知識がある。 ・日本の文化について理解を深め相手に紹介することができる。 ・関係代名詞（主格・目的格）について、正しい文型やふさわしい語法についての知識がある。	・現在分詞と過去分詞の後置修飾について基本文型の練習をワークブックで行う。 ・日本文化を紹介する基本的な語句を数多く例示し、自由英作文の手がかりとさせる。 ・関係代名詞の基本本文を暗唱し、書けるようにする。またワークブックを使って文型練習を行う。	
DO IT TALK 4 LESSON 7 to不定詞 間接疑問文 DO IT TALK 5 LESSON 8 間接疑問文	・提案するとき、誘うときの表現 ・S+V+O+to ~ ・S+V+why (what) 節	1	・関係代名詞を使った文を積極的に使おうとしている。 ・相手の誘ったり、提案したりする会話表現を積極的に使おうとする態度が見られる。 ・題材の内容に興味を持って、情報を得ようとする態度がみられる。 ・電話での会話表現を積極的に使おうとしている。 ・不自然な沈黙をせずに応答し、話しつづけることができる。 ・丁寧な依頼表現を会話で積極的に使おうとしている。	・場面に応じて相手の誘ったり、提案したりする会話表現ができる。 ・場面に応じて S+V+O+to 節の構文を含む文を使って話したり、書いたりすることができる。 ・電話特有の会話表現を使って話ることができる。 ・相手に丁寧な依頼表現を使って話かけることができる。 ・場面に応じて how to ~ / what to ~ の構文を含む文を使って話したり、書いたりすることができる。 ・自分の学んでみたい外国語とその理由について書くことができる。	・場面に応じた提案や誘いの会話表現が聞いてわかる。 ・S+V+O+to ~、S+V+wh 節の構文を含む英文の内容を正しく聞き取ったり、読み取ったりできる。 ・電話での会話表現の内容を正しく聴き取ることができる。 ・相手の依頼内容を聞き取ることができる。 ・how to ~ / what to ~ の構文を含む英文の内容を正しく聞き取ったり、読み取ったりできる。 ・相手の伝えたい内容について正しく聞き取ったり、読み取ったりできる。	・場面に応じた提案や誘いの会話表現についての知識がある。 ・S+V+O+to ~、S+V+wh 節の構文について、正しい文型やふさわしい語法の知識がある。 ・電話での会話表現について正しい知識がある。 ・丁寧な依頼文についての知識がある。 ・how to ~ / what to ~ の構文について、正しい文型や語法の知識がある。	・基本となる構文を使って簡単な会話練習を口頭で行う。 ・電話での会話文を基本となる構文を使って口頭練習する。 ・how to ~ / what to ~ の構文について基本本文の暗唱をし、また書けるように練習する。
DO IT WRITE 2 LET'S READ 2 READING PLUS	・3年間のまとめ	3	・「コミュニケーション」に興味を持って自分の考えをまとめられる。 ・必要に応じて辞書を活用しようとする。 ・中学校生活についての自分の思っている内容を積極的に表現しようとする態度が見られる。 ・難民や人権などの国際理解につながる題材について書かれた内容を興味を持って理解しようとする。	・今まで置った文法を用いて、伝えたい内容を正しく書くことができる。 ・アイコンタクトやジェスチャーなども含めた表現方法を使って、自分と相手と話せる。	・中学校生活について、相手の話している内容を正しく聞き取ったり、読み取ったりできる。 ・人権についてのエッセイを読み、内容を理解することができる。	・伝えたい内容を表現するための正しい文型や語法の知識がある。	・基本的な語句を数多く例示し、自由英作文の手がかりとさせる。 ・教科書の内容を理解しながら音読練習を行う。

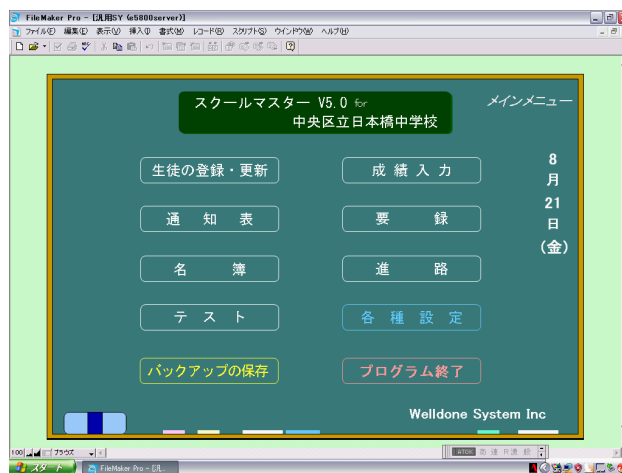
## 2 成績処理・成績通知・通知表等の評価システムの工夫と改善

### (1) 評価システムの工夫

本校では、平成15年度より株式会社ウェルダンのトータル教務処理システムソフト「スクールマスター」を利用して通知表等の作成を行ってきた。当初から3台のコンピュータをサーバー利用でLANでつないだ構成である。

導入当初は各学期ごとの通知、要録の作成などの成績関係の書類作成に利用し、定期考査については、創育の「太助」というソフトを利用しており、それぞれ別々に保護者に連絡・通知を行っていた。

平成20年度より、定期考査の結果及び通知表の両方を統合して通知すること、また1学期及び2学期の中間にも成績通知ができるようにするために、ポートフォリオ形式のものに改変を行った。学期中間の通知は国語・数学・英語・社会・理科の5教科でその時点で通知することのできる各観点の評価と中間考査の結果も載せ、生徒の感想や保護者の感想が記入できるようにした。学期の終わりは、定期考査と通知表は別の構成にし、ファイルに綴じ込んでいくようにした。平成21年度には、さらに生活の状況を6項目まで通知できるようにした。内容については、学校全体で取り組んでいること、「きまりを守って生活することができる」「係・委員会・当番活動しっかりとできる」など、各学年ごとに特に家庭で知っておいてほしいことを中心に現在の状況を知らせることとした。



3年	組	番	氏名	日本橋 太郎	校長印	担任印	保護者印			
第1学期中間の記録										
現在までの必修教科の観点別学習状況										
教科	観点	評価								
国語	国語への関心・意欲・態度									
	話す・聞く能力									
	書く能力									
	読む能力									
数学	算数についての知識・理解・技能									
	数学への関心・意欲・態度									
	数学的な見方や考え方									
	数学的な表現・処理									
英語	基礎・応用などについての知識・理解									
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度									
	表現の能力									
	理解の能力									
社会	書籍や文化についての知識・理解									
	社会的事象への関心・意欲・態度									
	社会的な思考・判断									
	資料活用の技能・表現									
理科	社会的な事象についての知識・理解									
	自然科学への関心・意欲・態度									
	科学的な思考									
	観念・実験の技能・表現									
※まだ評価を行えない観点は空欄になっています										
教科		得点	平均点	標準点	30	40	50	60	70	今学期成績のレーダーチャート
国語	-	0.0	-							
社会	-	0.0	-							
理科	-	0.0	-							
数学	-	0.0	-							
英語	-	0.0	-							
合計	-	0.0	-							
1学期									平均	
70									3計	
60									5計	
50										
40										
30										
20										
10										
0										
1学期中間										
学年 1組 1番 日本橋 太郎										

1学期中間の通知

### (2) 定期考査の記録

定期考査の記録については、「スクールマスター」においても集計等ができるのだが、

3年 1組 1番 氏名 日本橋 太郎		校長印	担任印	
学年末の記録				
必修教科の観点別学習状況と評定		選択教科の観点別学習状況と評定		
教科	観点	1学期	2学期	学年末
国語	国語への関心・意欲・態度 読み・書く能力 読解力			
英語	英語への関心・意欲・態度 社会的な思考・判断 多文化理解の態度・理解 社会的多文化への知識・理解			
数学	数学への関心・意欲・態度 数学的な見方・考え 数学的な表現・記述 職業・技術などに関する知識・理解 科学的な思考			
理科	理科への関心・意欲・態度 観察・実験の技能・表現 職業・実験に関する知識・理解			
社会	社会への関心・意欲・態度 歴史・地理・公民・外国語 職業・社会生活に関する知識・理解 社会的な思考・判断 多文化理解の態度・理解 社会的多文化への知識・理解			
音楽	音楽への関心・意欲・態度 音楽の技能・表現			
美術	美術への関心・意欲・態度 美術の技能・表現			
保健体育	健康・安全への関心・意欲・態度 運動や健康・安全に関する思考・判断 運動の技能 職業・健康・安全に関する知識・理解			
技術家庭	技術・職業・安全に関する知識・理解 生活と工業・技能に関する能力 生活の技能 職業に関する知識・理解			
英語	英語への関心・意欲・態度 社会的な思考・判断 多文化理解の態度・理解 社会的多文化への知識・理解			
出欠票の記録		総合的な学習の時間		
科目	出席	欠席	理由	
学年				
学期				
学期				
学期				
学期				

教科	得点	平均点	標準点	30	40	50	60	70	今回成績のレーダーチャート
国語	-	0.0	-						
社会	-	0.0	-						
数学	-	0.0	-						
理科	-	0.0	-						
英語	-	0.0	-						
合計	-	0.0	-						
	1学期	2学期	学年末					平均	
70									
60									
50									
40									
30									
20									
10									
0									

各教科の反省

国語
数学
英語
理科
社会
音楽
美術
技術家庭
保健体育

全体の反省

--

学年末の通知表

学年末考査の通知 (例)

表示内容については不足している部分が多く、改善の必要があった。しかし、プログラムの変更等のために膨大な費用がかかってしまうことがわかり、成績処理ソフト「太助」を継続して併用して行うこととした。学期中間の通知では、「スクールマスター」によって印刷されたものが上段、「太助」によって印刷されたグラフを通知表と同じ用紙の下段に印刷するという方法を用いた。学期末では、定期考査成績の通知と学期の通知表は、別の用紙にしそれぞれ渡していくこととした。成績の通知については、生徒や保護者の記入の部分に、学年独自のものを用いている。

### 3 インフォームドコンセントに備えた評価情報の提供

平成20年度より、学期の中間にも成績を通知することで、通知表を基にインフォームドコンセントを踏まえた学習相談を行うことにした。授業時間の関係から1学期及び2学期の中間の学習相談は、各授業者からの日頃の生徒の学習状況(授業態度・宿題等の提出物・授業の理解度)や、定期考査の成績・観点別の評価などを基にして少数の該当者を学校から指定した。生徒・保護者との面談を通して学習への取り組みの改善を図った。学期後の学習面談は、休業中に実施し、夏季休業中は前生徒対象、他の休業中は、指名

組別成績一覧  
○学期中間考査  
○年 ○組 ○○○年 ○○月○○日集計

上位3%:◎、上位10%:○、下位10%:△、下位3%:!

出席	氏名	国語	数学	英語	社会	理科	3計	5計	3教科	5教科										
1	70	95	52	93	39	94	20	118	31	119	161	212	105	115	▲					
2	88	22	81	15	46	36	47	82	82	22	215	344	15	35						
3	59	114	▲	43	110	▲	28	115	▲	56	58	47	111	▲	130	233	118	●	111	▲
4	58	116	▲	81	15	37	103	39	101	77	33	176	292	78	84					
5	64	107	67	49	40	89	52	70	61	90	171	284	86	91						
6	77	71	69	45	42	73	62	44	77	33	188	327	58	49						
7	59	114	▲	44	109	▲	31	112	▲	47	111	▲	134	212	116	▲	115	▲		
8	74	85	50	99	47	25	64	37	69	69	171	304	38	69						
9	70	95	55	92	38	97	35	106	64	82	163	262	100	103						
10	89	14	83	8	○	49	3	◎	67	31	88	11	○	221	376	9	○	10	○	
11	78	67	64	65	38	97	55	63	76	40	180	311	74	64						
12	64	107	49	103	26	117	●	19	118	●	58	100	139	214	114	▲	114	▲		
13	79	62	80	21	45	41	76	10	◎	68	73	204	348	32	27					
14	75	77	77	31	41	81	76	10	◎	76	40	193	345	48	34					
15	76	74	66	54	35	107	58	53	68	73	177	303	76	71						
16	60	112	▲	51	96	42	73	52	70	49	108	153	254	110	▲	108				
17	63	111	▲	57	87	42	73	43	93	62	87	182	267	102	102					
18	72	92	61	74	41	81	44	88	57	97	174	275	81	97						
19	91	6	○	83	8	○	49	3	◎	83	3	◎	223	397	6	○	2	◎		
20	86	29	95	1	◎	47	25	65	35	75	44	228	368	2	◎	13				
21	88	22	83	8	○	48	14	84	2	◎	92	3	◎	219	395	10	○	3	◎	
22	83	41	72	38	43	65	46	85	69	69	198	313	41	60						
23	89	14	64	65	45	41	65	35	86	13	198	349	41	25						
24	75	77	57	87	49	3	◎	52	70	69	69	181	302	72	72					
25	66	106	30	118	●	40	89	25	115	▲	38	116	▲	136	199	15	▲	119	●	
26	78	67	79	23	50	1	◎	66	32	75	44	207	348	25	27					
27	87	25	67	49	47	25	64	37	81	26	201	346	37	30						
28	68	101	35	116	▲	26	117	●	28	113	▲	50	107	129	207	119	●	118	●	
29	81	48	45	107	44	50	66	32	57	97	170	293	90	81						
30	73	88	46	105	47	25	58	53	90	7	◎	166	314	95	58					
31	99	1	◎	79	23	49	3	◎	78	7	◎	84	16	227	389	3	◎	4	◎	
32	85	33	69	45	36	97	40	97	51	106	192	293	52	92						
33	90	8	◎	38	114	▲	49	14	75	14	71	83	176	322	78	55				
34	89	14	78	28	43	65	77	9	◎	77	33	210	364	22	17					
35	96	2	◎	78	28	48	14	74	16	91	4	◎	222	387	8	◎	5	◎		
36	80	53	65	58	45	41	74	16	77	33	190	341	54	37						
37	77	71	67	49	41	81	47	82	80	28	185	312	65	62						
38	90	8	◎	78	28	47	25	56	58	71	63	215	342	15	36					
39	90	8	◎	70	42	48	14	81	5	◎	81	26	208	370	24	11	○			
40	82	43	60	77	44	50	40	97	49	108	186	275	63	97						

された生徒での教育相談として行った。

#### (1) 定期考査に基づく教科情報の提供

学習面談の該当者を選ぶに当たり各教科ごとの成績・評価の確認をする必要がある。定期考査の結果を用い該当者の選抜を行った。

#### (2) 各教科ごとの学習状況の提供

学習の充実のためには、授業における生徒の学習状況の改善が重要である。生徒の中には授業により学習態度を変えるものもいるため、学年の教員それぞれが自教科での生徒の学習状況をまとめ、コメントを加えたものを作成し、学年会等を利用して該当者を絞り学習面談を行った。

### 4 インフォームドコンセントに基づいた学習面談の実施

#### (1) 実施状況

学習面談は平成20年度より実施をした。以前より教育相談は行っていたが、面談の内容を学習にかかわることを中心とした面談を取り入れていくことから始めた。生徒・保護者・担任の3者で、現在の学力・学習状況・家庭学習の状況などを確認し、学力向上に向けてそれぞれの対応が必要なことを確認した上で、今後の学習への取り組みの方法・手だてを確認していく、いわゆるインフォームドコンセントの手法を用いた学習面談を行っていくこととした。1学期中間・2学期中間・冬季・春季休業中は該当者のみの面談、夏季休業中は全員と面談を実施した。学期中間の学習面談については、行事との関連で実施時期の設定が難しいこと・家庭との連絡・調整にある程度の時間が必要なこと・面談にかかわる時間が十分確保されていなかったこと・面談の内容を共有化する方法をとっていなかったため、面談の継続的効果が現れにくかったことなどの問題点が表れてきて、改善を図ることとした。

平成21年度では、年間計画作成の時点から、行事等との関連を見越した学習面談期間を設定し、定期考査の持ち方の変更など時数を確保する方法をとり、6時間目の授業の時間を学習面談のための時間を確保するようにした。また、定期考査後2週間後より面談を実施するように計画し、それに合わせて計画的に観点別評価、保護者への連絡・調整を行うようにした。

面談の内容の共有化・継続性をはかるため、「学習相談カルテ」を作成し、面談の内容を生徒ごとに記録していくこととした。何回か面談を行った生徒にとっては、前回の内容・確認したことなどを、再び3者で共有することで面談をより効果的にすることができると考えている。また、3年間継続して利用できるようにすることで、学年・担任が替わっても指導の継続性が図られると考え、今後もさらに活用を進めていく。

○年○組(36) 担任 ○○ ○○	国	英	数	社	理	音	体	美	技家	
					x					提出物
	x									提出物
				x						提出物
	x			◎	▲			▲		からかわれ・本人は頑張る
	◎		○	◎						思考力・表現力優
			○		▲				x	私語・アマガム
	◎	◎	○	◎				◎		取り組み素晴らしい
	◎			x				◎		提出物
	○			x	x	x	x	x		やる気無し・集中力無し(美)
				x	x	x	x	x		やる気無し・集中力無し(美)
		x	x	x	x	x	x	x	x	やる気無し・立ち歩き(美)私語
		x		x				x	▲	〇〇に引きづられ(美)態度悪
		x	x							私語
	x	x	▲	x				x		意欲無し・学力低
	▲	○	x							提出物x
				x	x		◎			体育係
					○		◎			声かけ
	○	○		▲	x				▲	日本語厳しいが作文頑張る
			○		○					
	○	◎		○						
	▲	▲		x	x	x				忘れ物・提出物・私語
		◎	▲							取り組み姿勢が良い
			○		○					
			○	○			○			集合早い
			○	○						
	◎	◎		○	○			◎		表現力あり・頑張る・優れている
				○	○					
				x	x					提出物

(2) 生徒の変容

学習面談は1回だけですぐに効果が上がることはほとんどないことが多く、繰り返し面談を行っていく生徒が多い。面談を繰り返していくことによって家庭学習や授業での取り組みが少しずつ改善が図られている。2年生・3年生で学期中間に面談を行っている生徒の多くは、前年度から引き続いて面談を続けており、今後学習相談カルテの効果が期待される。特に1年生では、学習の方法が分からずに伸び悩んでいる生徒への学習方法の援助をすることで、家庭学習の習慣が付いた生徒や、小学校時代と同じような考えで取り組んでいた生徒に対して、学校生活等の振り帰りを図ることで意識の変化を見ることができた。また、保護者と話をしていくことで、保護者自身が子供の学習に対して真剣に取り組んでいく必要があることを認識するなど、意識変革を図ることができた。

○学習相談カルテ（1年女子）

学習相談カルテ

1年	組	番
2年	組	番
3年	組	番

日時	相談内容	保護者・生徒の言葉等	記入者
6/1	社会英語を主とした中間テストの結果について	生徒: 免が勉強したが、まじが外れた。当日、すべて忘れてしまった。 保護者: 普段は全部が「せし」免の勉強で、1週間前は集中してやった。 ↓ 日頃の授業を大切に、言式免前だけでなく、日頃から少しずつ基礎学習を可のめしていく。	
7/24	中間よりも期末悪し 取り組みは「C」というのを改善しなければならぬ。	期末テストは漢字の免が勉強してはいるが、定着せず。期末テストの免は1つも見ただけで頭に入らなかった。 普段から漢字を使っていく。 提出物忘れ、健康カード 録のファイル ⇒ (後日) サポート	

○学習相談カルテ（3年男子）

日時	相談内容	保護者・生徒の言葉等	記入者
6/3 中間 後	学習に関して	・中間の数学がと2も良い結果だったの、次もがんばりたい。(本人) ・他の教科も、まだ勉強不足なの、がんばりたい。 ・今の状況では、現在志望している高校に合格するには、あと200点くらいも足りない。 ・高校に行けるか、どうかという、きびしい状況なので、がんばらせない。(父)	
7/29	進路に関して	・中間にくすぶ、期末の結果はあまり良くなかった。(本人) ・学習の方法や内容を考え直し、夏休みは1、2年の復習をしっかりとやるべきだ。( ) ・塾に行かせることを考えている。(父) ・学習もだが、授業での提出物もちゃんとできている。	

日時	相談内容	保護者・生徒の言葉等	記入者
11/5	進路に関して 学習状況に関して 学校生活に関して	・学校見学はまだ1校しか行ってない(本人) ・次回の面談までに、今、出た学校で見学してきてほしい( ) ・面談の連絡や、さまでまの書類等の提出が守られていない、親に確認してほしい( ) ・きちんと家じ親子で話ができるようにしたい( ) 親としては都立に行ってほしいが、無理とすると... (父) 相変わらず、実技教科等の提出が遅いので、厳しさを付けて、め切りを守らう( ) 文化祭では、よく自分の仕事をし、はり検で頑張ることを。	

## 5 コンピュータ、ICT機器の教育利用

### (1) 利用状況

中央区では、平成22年度までに全教員がコンピュータを利用した授業を行うことができるように、区として研修計画を進めており、現在過半数の教員が研修の一環として授業を行っている。電子黒板・プロジェクタについても各学校3台ずつ配置されている。コンピュータ室で行われる授業だけでなく、普通教室においてもコンピュータを用いて授業を行える状態になっている。各教科の特性もあり、どの教科においても常に利用されるわけではないが、現在も利用が増えつつある。

### (2) 利用にかかわる課題

現在学校で使われているコンピュータは平成16年度に導入されたものが中心である。経年使用のため破損や、ソフトの不具合も発生している。また、セキュリティの関係からインターネットに接続・LAN対応のものは、新しいソフトを組み込むのに際しセキュリティを外してから行わなければならない。最新の動画やソフトの導入に、非常に手間がかかってしまう。さらに、インストール等が可能なパソコンは校内でのインターネットを利用することができず、インターネット上のコンテンツをすぐに利用することがままならないのが現状である。より授業に使いやすいよう、セキュリティに配慮しながらの新たな機器へと更新が望まれる。

## 6 成果と今後の課題

年間指導計画については、年間指導計画とシラバスとの関係を今後も重視したものにしていきたい。しかし、学習指導要領の改定に伴い今後内容を大幅に変更していかなければならず、今後も工夫・改善していく余地がある。

通知表については、現在1学期と2学期の中間で保護者に渡しており、学習面談と関連して学習への取り組みに際して効果が表れている。行動の記録については、今年度から始めたものであるため、その効果については今後検証する必要がある。「スクールマスター」というソフトを利用し、ポートフォリオ形式に変更したことで事務的な部分が簡素化されたことも、通知表を渡す回数が増えたことによる負担を軽減することにつながっている。学習スパンとの関連から見ると第5スパンの後では、現在成績の通知を行っていない。3学期の前半に当たる部分であり、そこでは現在のところ一斉にテストを行うことを実施していないため、通知表や、面談のための基礎資料となるものがあまりないためである。第5スパンの後での通知の仕方、スパンの切り方も含め今後検討をしていく必要がある。

学習面談は夏季休業中以外では、対象生徒のみの実施である。しかし、学年によっては対象となりそうな生徒が多く、どこまでを対象にしていくのか今後も検討していく必要がある。今年度から学習面談を年間計画の中にあらかじめと位置付けておいたことで、各学年とも計画的に取り組むことができた。

学習相談カルテについては、今年度から実施したものであり、学年が変わって担任が新しくなった時に最も効果が見られると考えている。継続して実施していき、来年度にその効果を検証する必要がある。